

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患） （TxAD : Treatment of Active Disease）

（2020年10月27日～2021年1月28日）

コース責任者：（主）八重柏隆、佐々木大輔、宮本郁也、工藤義之、野田守
 講座（分野）担当者：歯科保存学講座（う蝕治療学分野）野田守、工藤義之
 ：歯科保存学講座（歯周療法学分野）八重柏隆、佐々木大輔
 ：口腔顎顔面再建講座（口腔外科学分野）宮本郁也

第3学年 後期	講義	実習
	（保存修復学）	42時間
	（歯内治療学）	48時間
	（歯周病学）	36時間
	（口腔外科学）	39時間
	（口腔外科学）	15時間
	コースまとめ(コア歯学)	12時間
	計	0時間
		144時間
		126時間

教育成果（アウトカム）（講義・実習）

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患）（Treatment of Active Disease）では、口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法を下記の通り段階的に把握することで、臨床で求められる口腔治療学を総合的に集中して学習することができる。

具体的には齶蝕の科学、病態（診査・診断）、接着、修復材料、齶蝕の治療、続いて歯内疾患の診査・診断・治療の講義・実習で修復・歯内領域を修得し、それから歯周病の病態と治療、診査・診断から歯周外科実習に至る講義・実習で歯周領域を、次に（難抜歯を除く）普通抜歯に関する診査・診断・治療の講義・実習で関連領域を修得する。最後に総合的知識のまとめとして各領域のコア歯学関連項目の演習で各自の真の実力を再確認・補習し、初診から高頻度歯科臨床の流れとしての口腔治療学を4年次に向け効果的に修得する。

（ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 6, 7）

事前学習内容及び事前学習時間（各回最低 30 分以上）

事前学習（予習）は、シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低 30 分以上を要する。適宜、講義冒頭で事前学習内容の発表時間を設ける。

講義・実習日程

【講義：矢巾キャンパス 西 1-G 講義室、実習：矢巾キャンパス 西 3-E 実習室】

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月27日 (火)	八重柏隆教授 (歯周療法学)	TxAD コースガイダンス	1. 口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織の各疾患の病態、診査・診断・治療方法を総合的に説明できる。
1限		TxAD で修得すべき事を理解する。	[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版 2-3p、臨床歯周病学 3版序章 15-31p を読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月27日 (火) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復総論 各種処置法 保存修復学の意義を理解し、各種修復方法について説明できるようになる。	1. 保存修復学の意義、手順、特徴を説明できる。 2. 修復法の種類を列挙できる。 3. インレー修復の特徴を説明できる。 4. レジン修復の特徴を説明できる。 5. セメント修復の特徴を説明できる。 6. アマルガム修復の特徴を説明できる。 7. 接着性修復と非接着性修復を説明できる。 8. 修復物の具備すべき条件を説明できる。 [E-3-3)-(1)-③④⑥⑦⑧] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第1章 1,2,7を読み、疑問点を抽出しておく。あらかじめDESS演習をアップするので講義までに演習を実施して講義に臨むこと。
10月27日 (火) 3限	野田 守教授 浅野明子講師 (う蝕治療学)	Cariology 1 病理・組織学的特徴 エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕について説明できるようになる。	1. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕の発症機序、病態、進行について病理学的に説明できる。 [E-3-2)-(①] 事前学習：保存修復学第1章を読んでまとめておく。
10月27日 (火) 4限	野田 守教授 浅野明子講師 (う蝕治療学)	Cariology 2 MID (Minimal Intervention Dentistry) 齲蝕除去の理論 齲蝕除去の理論について説明できるようになる。	1. 齲蝕歯質において残すべき歯質について説明できる。 2. 急性齲蝕と慢性齲蝕における感染歯質除去理論の違いを説明できる。 3. 2種類の齲蝕検知液について説明できる。 4. 齲蝕検知液の使用方法を説明できる。 5. レーザー蛍光法による齲蝕検知について説明できる。 6. 感染歯質除去に使用する器具を説明できる。 7. 高齢者における根面う蝕を説明できる。 8. MI (Minimal Intervention) について説明できる。 9. トンネル修復について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-(⑦] 事前学習：第3章、第4章1,2を読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月28日 (水) 1、2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	齲蝕以外の硬組織疾患とその治療 歯の構造と歯に生じる疾患の概要について説明できるようになる。 歯の切削と歯髄保護修復の補助法 歯の切削法と切削による歯髄障害、歯髄保護、および修復の補助法について説明できるようになる。 有病者・在宅者の歯科治療について説明できるようになる。	1. 象牙質歯髄複合体を説明できる。 2. 歯の硬組織疾患（齲蝕、咬耗症、磨耗症、アブフラクション、侵蝕症、破折、歯の着色・変色、形成不全、先天異常）の病因と病態を説明できる。 3. 歯の発育障害（エナメル質形成不全、象牙質形成不全、形態異常、斑状歯、ターナーの歯、ハッチンソンの歯、フルニエの歯）と加齢変化（咬耗、亀裂、変色、添加象牙質）の病因と病態を説明できる。 4. 歯痛の機序を説明できる。 5. 動水力学説を説明できる。 [E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①] 事前学習：保存修復学第1章3、第4章3を読んでまとめておく。 1. 歯の切削法を説明できる。 2. 高速切削について説明できる。 3. 歯の切削による歯髄刺激を説明できる。 4. フェザータッチについて説明できる。 5. 歯髄保護の重要性を説明できる。 6. 間接覆髄法を説明できる。 7. 歯間分離について説明できる。 8. 歯肉圧排について説明できる。 9. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 [E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①] 事前学習：第4章4、7を読んでまとめておく。
10月28日 (水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	齲蝕の観察 齲窩の開拡 罹患歯質除去 抜去天然歯の齲蝕歯質を除去できるようになる。	1. 適切な器具で天然歯を切削することができる。 2. 抜去天然歯を用いて齲蝕歯質を適切に除去できる。 [F-1-2)-①②、F-3-1)、F-3-3)-①、G-3-④] 事前学習:WebClassにアップした第1回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
10月29日 (木) 1限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (う蝕治療学)	窩洞の原則 窩洞形態に関する諸条件について説明できるようになる。 窩洞分類・名称 窩洞の名称、分類について説明できるようになる。	1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. 窩洞外形を説明できる。 3. 予防拡大を説明できる。 4. 保持形態を説明できる。 5. 抵抗形態を説明できる。 6. 便宜形態を説明できる。 7. 窩縁形態を説明できる。 8. 窩洞の清掃について説明できる。 9. メタルインレー窩洞をデザインできる。 10. 材料と窩洞形態の特徴を説明できる。 11. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 12. Blackの窩洞の分類を説明できる。 13. 窩洞の名称を説明できる。 [E-3-3)-(1)-⑥] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第4章5、6を読み、疑問点を抽出しておく。あらかじめDESS演習をアップするので講義までに演習を実施して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月29日 (木) 2限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯科用セメント 歯科用セメントの基礎的物性の評価法について説明できるようにになる。	1. セメントの種類、特徴および用途を説明できる。 2. セメントのJIS規格を説明できる。 3. リン酸亜鉛セメントの特徴を説明できる。 4. ポリカルボキシレートセメントの特徴を説明できる。 5. EBAセメントの特徴を説明できる。 6. レジン系セメントの特徴を説明できる。 7. その他の歯科用セメントを分類できる。 8. 合着用セメントの歯髄刺激を説明できる。 [E-3-3)-(1)-③⑦] 事前学習：保存修復学第6章1,2を読んでまとめておく。
10月29日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の保存修復 PBL形式 保存修復における高齢者の特徴と有病者の修復法について説明できるようにになる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の齶蝕について説明できる。 3. 高齢者の修復法について説明できる。 4. 有病者の修復法について説明できる。 5. 切削時の有病者への配慮を説明できる。 6. 在宅医療における歯科治療について説明できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。 [E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①③、E-5-1)-⑤] 事前学習：第1章5、第5章を読んでまとめておく。
10月30日 (金) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 (う蝕治療学)	ラバーダム防湿 シミュレーターでラバーダム防湿を行うことができるようになる。	1. 1歯のラバーダム防湿を行うことができる。 2. 多数歯のラバーダム防湿を行うことができる。 [F-1-2)-①②、E-3-3)-(1)-③⑥、F-3-3)-①] 事前学習：WebClass にアップした第2回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
10月30日 (金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	V級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎前歯にV級コンポジットレジン修復を行うことができるようになる。	1. 上顎前歯にV級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. V級コンポジットレジン充填を行うことができる。 [F-1-2)-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-①] 事前学習：WebClass にアップした第2回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月2日 (月) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教授 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	接着歯学 1 PBL 形式 歯質接着について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. エナメル質に対する接着について説明できる。 2. 象牙質に対する接着について説明できる。 3. ハイブリッド層（樹脂含浸層）について説明できる。 4. ステップ接着システムの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチング接着システムの接着メカニズムについて説明できる。 6. ワンボトル接着システムの接着メカニズムについて説明できる。 7. マイクロリーケージ（微小漏洩）について説明できる。 8. ナノリーケージについて説明できる。 9. 接着性プライマーの構造について説明できる。 10. HEMA について説明できる。 11. 酸性プライマーについて説明できる。 12. シラノール系プライマーについて説明できる。 13. イオウ系プライマーについて説明できる。 14. コンポジットレジンの重合収縮が窩壁適合性に与える影響を説明できる。 15. C-factor について説明できる。 <p>与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。</p> <p>[E-3-3)-(1)-②③④⑧]</p> <p>事前学習：保存修復 21、医歯薬出版保存修復学、インターネットなどで接着についてまとめておく。</p>
11月2日 (月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教授 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	コンポジットレジ ン修復 PBL 形式 コンポジットレジ ンの組成と特徴に ついて説明でき るようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MMA 系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレジ ンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレジ ンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器（ハロゲン照射器、LED 照射 器）について説明できる。 5. 重合深度について説明できる。 6. 材料の化学的構造を理解し図示できる。 7. 修復用コンポジットレジンを分類できる。 8. フィラーについて説明できる。 9. 重合収縮について説明できる。 10. 重合深度について説明できる。 11. コンポジットレジンの歯髄刺激について説明 できる。 12. ホワイトマージンについて説明できる。 <p>与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。</p> <p>[E-3-3)-(1)-②③⑧]</p> <p>事前学習：保存修復 21、医歯薬出版保存修復学、インターネットなどでコンポジットレジ ンについてまとめておく。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月4日 (水) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教授 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	Ⅲ、Ⅳ級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎前歯にⅢ、Ⅳ級コンポジットレジン修復を行うことができるようになる。	1. 上顎前歯にⅢ、Ⅳ級コンポジットレジン充填を行うことができる。 2. 欠損部の解剖学的形態を回復することができる。 3. 間接覆髄を行うことができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-(①②)] 事前学習：WebClass にアップした第3回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
11月10日 (火) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教授 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	セメント修復1 グラスアイオノマーセメント PBL形式 修復用グラスアイオノマーセメントについて説明できるようになる。 グラスアイオノマーセメント修復の臨床について説明できるようになる。	1. 従来型、レジン添加型グラスアイオノマーセメントの硬化機序を説明できる。 2. 酒石酸の効果を説明できる。 3. 感水について説明できる。 4. グラスアイオノマーセメントの利点と欠点を説明できる。 5. グラスアイオノマーセメントと歯質の接着を説明できる。 6. グラスアイオノマーセメントと他のセメントを比較できる。 7. グラスアイオノマー修復の術式を説明できる。 8. グラスアイオノマー修復の適応症を説明できる。 9. グラスアイオノマー修復の禁忌症を説明できる。 10. グラスアイオノマー修復とコンポジットレジン修復を比較できる。 11. 抗う蝕材料を説明できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。 [E-3-3)-(1)-②③] 事前学習：保存修復21、医歯薬出版保存修復学、インターネットなどでセメントについてまとめておく。
11月10日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教授 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	Ⅴ級グラスアイオノマー修復 シミュレーターで上下顎前歯にグラスアイオノマー修復を行うことができるようになる。	1. Ⅲ、Ⅴ級窩洞にグラスアイオノマーセメントを充填することができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-(①)] 事前学習：WebClass にアップした第4回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月11日 (水) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復 1 コンポジットレジンの組成と特徴について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MMA系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器（ハロゲン照射器、LED照射器）について説明できる。 5. 重合深度について説明できる。 6. 材料の化学的構造を理解し図示できる。 7. 修復用コンポジットレジン进行分类できる。 8. フィラーについて説明できる。 9. 重合収縮について説明できる。 10. 重合深度について説明できる。 11. コンポジットレジンの歯髄刺激について説明できる。 12. ホワイトマージンについて説明できる。 <p>与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。</p> <p>[E-3-3)-(1)-②③⑧]</p> <p>事前学習：保存修復 21、医歯薬出版保存修復学、インターネットなどでコンポジットレジンについてまとめておく。</p>
11月11日 (水) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復 2 コンポジットレジン の術式、適応症、既往症について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジン修復の術式を説明できる。 2. コンポジットレジン修復の適応症を説明できる。 3. コンポジットレジン修復の禁忌症を説明できる。 4. コンポジットレジン修復の補助法について説明できる。 <p>[E-3-3)-(1)-②③]</p> <p>事前学習：医歯薬出版保存修復学 第5章1,2,を読み、疑問点を抽出しておく。</p>
11月11日 (水) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	鑄造修復 1 鑄造修復法における印象採得からワックスアップまでできるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑄造修復の診療室および技工操作の流れを説明できる。 2. 印象法について説明できる。 3. 咬合採得について説明できる。 4. 作業模型の種類と取扱法を説明できる。 5. ワックスパターン形成法について説明できる。(熔融圧接法、軟化圧接法) <p>[E-3-3)-(1)-③]</p> <p>事前学習：第6章3を読んでまとめておく。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月11日 (水) 4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	鑄造修復 2 鑄造修復法における埋没から技工室での調整法までの過程を説明できるようになる。 メタルインレー修復について説明できるようになる。	1. 埋没操作について説明できる。 2. 鑄造操作について説明できる。 3. 技工室での調整法について説明できる。 4. 研磨について説明できる。 5. 鑄造修復物の口腔内での調整法について説明できる。 6. 鑄造修復物の装着法について説明できる。 7. メタルインレー窩洞の形成理論を説明できる。 8. メタルインレー修復後の不快事項について説明できる。(脱離、体部破折、ガルバニ) 9. CAD/CAM法との違いについて説明できる。 10. 間接修復法の変遷について説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：第6章4, 5, 6を読んでまとめておく。
11月12日 (木) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級コンポジット レジン修復 シミュレーターで上顎小臼歯のⅡ級コンポジットレジン修復ができるようになる。	1. 上顎小臼歯にⅡ級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. 天然歯の色調にあったコンポジットレジンを選択することができる。 3. Ⅱ級コンポジットレジン修復に必要な隔壁を装着することができる。 [F-3-1)、F-3-3)-(①)] 事前学習：WebClass にアップした第5回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
11月13日 (金) 1限	齋藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 3 材料、機器の特徴 1 埋没、鑄造の理論について説明できるようになる。	1. 鑄造収縮の補正について説明できる。 2. 埋没材の種類、用途、特徴を説明できる。 3. 膨張法を説明できる。 4. 鑄型の加熱について説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：スタンダード歯科理工学第11章A～Eを読んでまとめておく。
11月13日 (金) 2限	齋藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 4 材料、機器の特徴 2 埋没、鑄造の理論について説明できるようになる。	1. 鑄造の基本を説明できる。 2. 鑄造法の種類を列挙しそれぞれの特徴を説明できる。 3. 歯科用金属について説明できる。 4. フラックスについて説明できる。 5. 酸洗いについて説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：スタンダード歯科理工学第11章F～Hを読んで到達目標についてまとめておく。
11月13日 (金) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジンインレー修復 1 MI とレジンインレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. レジンインレー修復の術式、特徴を説明できる。 2. レジンインレーの窩洞形成について説明できる。 3. クレビスについて説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第6章4を読み、疑問点を抽出しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月13日 (金) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジンインレー修復2 レジンインレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. コンポジットレジン修復とレジンインレー修復について比較、説明できる。 2. レジンコーティング法について説明できる。 3. レジンセメントの種類を列挙できる。 4. レジンセメントの特徴を説明できる。 5. レジンセメントの用途を説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第6章4を読み、疑問点を抽出しておく。
11月16日 (月) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級メタルインレー修復 シミュレーターで下顎大白歯にメタルインレー窩洞形成ができるようになる。	1. チャンスライス型Ⅱ級メタルインレー窩洞を形成できる。 2. ボックス型Ⅱ級メタルインレー窩洞を形成できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-(①] 事前学習：WebClass にアップした第6回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
11月17日 (火) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	先進歯科医療 歯科用レーザー、セラミックインレーについて説明できるようになる。	1. 歯科用レーザーの種類、特徴、用途を説明できる。 2. セラミックインレーについて説明できる。 [E-3-3)-(1)-②③] 事前学習：保存修復学第4章4、第6章5を読んで到達目標についてまとめておく。
11月17日 (火) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	変色歯、着色歯、歯の漂白 変色歯、着色歯、歯の漂白の特徴と術式について説明できるようになる。	1. 変色歯の原因と分類を説明できる。 2. 歯の漂白法の特徴を説明できる。 3. ホームブリーチについて説明できる。 4. オフィスブリーチについて説明できる。 5. ラミネートベニア修復について説明できる。 [E-3-3)-(2)-⑥] 事前学習：保存修復学第4章3を読んで到達目標についてまとめておく。
11月17日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	補修修復実習 有病者歯科治療実習 補修修復を想定したシミュレーターでV級修復ができるようになる。 開口制限のある患者を想定したシミュレーターでI級修復ができるようになる。	1. 補修修復を想定したシミュレーターのV級修復ができる。 2. 開口制限のある患者を想定したシミュレーターにI級修復ができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥] 事前学習：WebClass にアップした第7回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
11月18日 (水) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	レジンインレー修復セラミックインレー修復 シミュレーターでレジンインレー、セラミックインレー窩洞形成を行うことができるようになる。	1. レジンインレー窩洞を形成できる。 2. セラミックインレー窩洞を形成できる。 3. レジンコーティングを行うことができる。 [E-3-3)-(1)-⑥] 事前学習：WebClass にアップした第8回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月19日 (木) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	修復学実習 間接修復 インレー印象採得 咬合採得 技工指示書の書き方 模型上でメタルインレーの印象採得、咬合採得、模型作製を行うことができるようになる。 技工指示書を記入することができるようになる。	1. 精密印象採得および対合歯の印象採得を行うことができる。 2. 咬合採得を行うことができる。 3. レジン系仮封材を扱うことができる。 4. 模型材の種類と用途を理解したうえで、模型を作製することができる。 5. 技工指示書を記入することができる。 [F-3-3)-①、E-3-3)-(1)-⑦] 事前学習：WebClass にアップした第9回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
11月20日 (金) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	中間試験	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
11月20日 (金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	実習試験 与えられた臨床課題をシミュレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。 [F-3-1)、F-3-3)-①]
11月24日 (火) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学 (概論) 歯内療法の定義、意義、目的について説明できるようになる。	1. 歯内療法学の目的を説明できる。 2. 硬組織を介した感染経路を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第1章を読み、疑問点を抽出しておく。
11月24日 (火) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学 (覆髄法および象牙質知覚過敏症の病態と治療) 覆髄処置(歯髄保存療法)を理解する。 象牙質知覚過敏症の病態と治療について説明できるようになる。	1. 歯髄に分布する神経を説明できる。 2. 痛みの伝導路を説明できる。 3. 動水力学説を説明できる。 4. 象牙質知覚過敏の病態を説明できる。 5. 象牙質知覚過敏の処置を説明できる。 6. 覆髄処置(歯髄保存療法)を説明できる。 7. 象牙質知覚過敏症の病態と治療を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第2章を読み、疑問点を抽出しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月24日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学実習 根管治療に必要な 各種材料の取扱い 根管治療 基本手技 根管拡大 根管洗浄 貼薬 仮封 根管治療に必要な 各種材料を取り扱 うことができるよ うになる。	1. 仮封用セメントを練和することができる。 2. ブローチ綿栓を巻くことができる。 3. 根管模型で根管拡大を行うことができる。 4. 適切な器具の操作を行うことができる。 5. 根管拡大の基準を説明できる。 6. 根管貼薬を行うことができる。 7. 根管洗浄、乾燥を行うことができる。 8. 仮封を行うことができる。 9. 根管治療に必要な器具を準備することができる。 10. 無菌的操作が実施できる。 [E-3-3)-(1)-⑦、F-3-1)-③、F-1-2-①②、 F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習：歯内療法第1回実習書、歯内治療学第 4章-II 無菌的処置法を熟読し、根管治療におけ る無菌的処置の重要性についてまとめておく。実 習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
11月25日 (水) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（歯髄疾 患の分類と病態） PBL形式 各種歯髄疾患の分 類と病態について 説明できるよう になる。	1. 炎症の病態を説明できる。 2. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。 3. 歯髄腔における炎症性変化の特徴を説明できる。 4. 歯髄における加齢変化を説明できる。 5. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインター ネットなどを利用して、情報収集を行い、発表 出来るようにまとめる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：医歯薬出版歯内治療学、インターネット などで歯髄疾患についてまとめておく。
11月25日 (水) 3限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（歯髄疾 患の病因・診査） 各種歯髄疾患の病 因と診査方法につ いて説明できるよ うになる。	1. 歯髄充血を説明できる。 2. 可逆性歯髄炎を説明できる。 3. 不可逆性歯髄炎を説明できる。 4. 慢性歯髄炎を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第5章を読み、疑問点を抽 出しておく。
11月25日 (水) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（最新の 歯内療法） 最新の歯内療法に ついて説明できる ようになる。	1. 歯内療法におけるマイクロスコープの有用性 を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第14章を読み、疑問点を抽 出しておく。
11月26日 (木) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（根尖性 歯周組織疾患の分 類と病態） PBL形式 各種根尖性歯周組 織疾患の分類と病 態について説明で きるようになる。	1. 根尖周囲の免疫機構を説明できる。 2. 急性根尖性歯周炎を分類できる。 3. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明 できる。 4. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第6章を読み、疑問点を抽 出しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月26日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（歯髓炎、根尖性歯周組織疾患の総合的診断） PBL形式 歯髓炎、根尖性歯周組織疾患の病因と診査方法について説明できるようになる。	1. 歯髓炎と根尖性歯周疾患を鑑別できる。 2. 提示された症例を通じて歯内疾患を診断できる。 3. 提示された症例に対して適切な処置法を説明できる。 4. 処置に必要な器具とその使用方法を説明できる。 5. 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るように纏める。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯内治療学、インターネットなどで歯髓炎、根尖性歯周炎についてまとめておく。
11月27日 (金) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・感染根管治療の基本術式－根管拡大－） 抜髄・感染根管治療の基本術式（除痛法髓腔開拡 標準拡大法）について説明できるようになる。	1. 歯髓診断に用いる器具および使用方法を説明できる。 2. 麻酔抜髄法の術式を説明できる。 3. 防湿法を説明できる。 4. 麻酔抜髄に用いる器具を用意できる。 5. 到達窩洞について説明できる。 6. 上部根管形成を説明できる。 7. 根管長・作業長を説明できる。 8. 根管拡大・根管形成を説明できる。 9. アピカルシートを説明できる。 10. 歯髓・感染根管治療の基本術式（標準拡大法）を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯内治療学第7章を読み、疑問点を抽出しておく。
11月27日 (金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・感染根管治療の基本術式－根管拡大－） 種々の根管拡大法、拡大補助法について説明できるようになる。	1. クラウンダウン法について説明できる。 2. ステップバック法について説明できる。 3. ウォッチワインディング法について説明できる。 4. 彎曲根管の拡大法について説明できる。 5. プレカーブテクニックについて説明できる。 6. アンチカーバチャーテクニックについて説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯内治療学第7章を読み、根管拡大・形成法についてまとめておく。
11月27日 (金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療① 髓腔開拡から根管口明示 貼薬仮封まで シミュレーター実習で根管拡大を治療手技に沿ってできるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎前歯の髓腔開拡を行うことができる。 3. 作業長を決定することができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習: 歯内療法第2回実習書、歯内治療学第5章、第6章を読み、直接抜髄法（麻酔抜髄法）を熟読し、抜髄の臨床的手順、抜髄の適応症と禁忌症についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月30日 (月) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療② 根管充填 シミュレーター実習で上顎前歯の根管充填を行うことができるようになる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明できる。 2. マスターポイント試適を行うことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる 5. 根管治療の術式を説明できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-②] 事前学習：歯内療法第3回実習書、歯内治療学第8章を熟読し、側方加圧充填法の臨床の手順、使用器具についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
12月1日 (火) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・感染根管治療の基本術式－根管洗浄－） 抜髄・感染根管治療の基本術式（根管洗浄）について説明できるようになる。	1. 感染根管治療の基本術式を説明できる。 2. 感染根管治療に用いる道具を用意できる。（根管洗浄） 3. 根管の無菌化を説明できる。 4. 根管洗浄を説明できる。 5. 根管貼薬を説明できる。 6. 仮封を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第6章、第7章を読んで、根管の化学的洗浄、根管洗浄について熟読し内容をまとめておく。
12月1日 (火) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・感染根管治療の基本術式－根管充填－） 抜髄・感染根管治療の基本術式（側方加圧根管充填）について説明できるようになる。	1. 根管充填の目的を説明できる。 2. 根管充填が可能な条件を説明できる。 3. 側方加圧根管充填に使用する器具・薬剤を説明できる。 4. 側方加圧根管充填の術式について説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第8章を読み、根管充填法の意義、時期、根管充填材について熟読し内容をまとめておく。
12月1日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療③ 再根管治療 シミュレーター実習で再根管治療ができるようになる。	1. 充填されている根管充填材を除去することができる。 2. 再根管治療が必要な病態を説明できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-④、F-3-3)-③] 事前学習：歯内療法第4回実習書、歯内治療学第5章を熟読し、感染根管の成因、病原性についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
12月3日 (木) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療① 上顎小臼歯 髓腔開拡 根管口明示 根管拡大 シミュレーターで上顎小臼歯の根管治療ができるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎小臼歯の髓腔開拡を行うことができる。 3. 作業長を決定することができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる [F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習：歯内療法第2回、第5回実習書、歯内治療学第7章を熟読し髓室開拡の注意点についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月3日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療② 下顎小臼歯 急性期の対応 J-開放療法 Wei zer 仮封 シミュレーターで 開放療法を実施で きるようになる。 下顎小臼歯の根管 治療ができるよう になる。	1. 急性症状を有する歯への対応を説明できる。 2. 開放療法を実施できる。 3. 通気性仮封を実施できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-④、F-3-3)-③] 事前学習：歯内療法第5回実習書、歯内治療学第 6章のうち急性根尖性歯周炎に関する項目を熟読 し、急性化膿性根尖性歯周炎の臨床症状による分 類についてまとめておく。実習内容の理解度確認 のため小テストを実施する。
12月4日 (金) 1限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・ 感染根管治療の基 本術式－根管充填、 予後－） 抜髄・感染根管治療 の基本術式（その他 の根管充填と予後） について説明でき るようになる。	1. 垂直加圧根管充填に使用する器具・薬剤を説 明できる。 2. 垂直根管充填の術式について説明できる。 3. オブチュレーションテクニックについて説明 できる。 4. 根管充填後の治癒機転を説明できる。 5. コロナルリーケージについて説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第8章を熟読し根管充填後 の治癒機転についてまとめておく。
12月4日 (金) 2限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（根未完 成歯・外傷歯の歯内 療法） 根未完成歯・外傷歯 の歯内療法の基本 術式について説明 できるようになる。	1. 根未完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキシゲネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 4. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 5. 内部吸収について説明できる。 6. 外部吸収について説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第10章を熟読しアペキシ フィケーションとアペキシゲネーシスの違いに ついてまとめておく。
12月4日 (金) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（抜髄・ 感染根管治療の偶 発症と対策） 抜髄・感染根管治療 の偶発症と対策に ついて説明できる ようになる。	1. 歯内療法における偶発症を説明できる。 2. 偶発症への対処法を説明できる。 3. 有病者における歯内処置で配慮すべき点を説 明できる。 4. 抜髄・感染根管治療の偶発症と対策を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第19章を熟読し歯内治療の偶 発事故の項目と予防・治療についてまとめておく。
12月4日 (金) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（外科的 歯内療法） 外科的歯内療法の術 式・適応症について説 明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。 2. 外科的歯内療法に用いる器具を用意できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第13章を熟読し外科的歯 内療法の種類と適応についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月7日 (月) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療③ 上顎大白歯 下顎大白歯 髓腔開拓 根管口明示 根管拡大 シミュレーター実習 で大白歯の根管治療 ができるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎大白歯の髓腔開拓を行うことができる。 3. 下顎大白歯の髓腔開拓を行うことができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習：歯内療法第2回、第5回、第6回実習書、歯内治療学第7章を熟読し髓室開拓の注意点についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
12月8日 (火) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	臨床ケースから学ぶ PBL形式 提示症例に対して 全身的背景も考慮 した上での確かな歯 髓診断、治療法の選 択、治療に用いる器 具を用意できるよう になる。	1. 提示された症例に対して、全身的背景も考慮 して的確な歯髓診断ができる。 2. 的確な治療法の選択を説明できる。 3. 治療に用いる器具を用意できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインター ネットなどを利用して、情報収集を行い、発表 出来るように纏める。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：高血圧、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、 循環器疾患と歯科の関係についてインターネット で調べておく。
12月9日 (水) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療④ 根管充填 シミュレーター実 習で上下顎小白歯、 上下顎大白歯の髓 腔開拓ができるよ うになる。	1. 上下顎小白歯の根管充填を行うことができる。 2. 上下顎大白歯の根管充填を行うことができる。 3. ラバーダム防湿下で臼歯の根管拡大を行うこ とができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-②] 事前学習：歯内療法第3回、第7回実習書、歯内 治療学第8章を熟読し、側方加圧充填法の臨床的 手順、使用器具についてまとめておく。実習内容 の理解度確認のため小テストを実施する。
12月9日 (水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	ニッケルチタンロー ターファイルを使 用した根管治療 シミュレーターでニ ッケルチタンロー ターファイルでの根 管拡大を実施でき るようになる。	1. ニッケルチタンローターファイルの特徴を説 明できる。 2. ニッケルチタンローターファイルで根管拡 大を実施できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-②] 事前学習：歯内療法第7回実習、歯内治療学を熟 読し、ニッケルチタンローターファイルの特徴 についてまとめておく。
12月10日 (木) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学(中間試 験)(筆記) 歯内療法学につい ての理解を問う。	1. 歯内療法学の基礎的問題ができる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)]
12月10日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実 習(実技試験) シミュレーターにラバ ーダム防湿を規定時 間内に装着できるよ うになる。	1. 規定時間内にラバーダム防湿を実施できる。 2. 規定時間内に髓腔開拓を実施できる。 3. 規定時間内に綿栓を巻くことができる。 4. 規定時間内に仮封ができる。 [F-3-1)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月11日 (金) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の基礎知識、 リスクファクター 歯周病の基礎知識 とリスクファク ターを理解できる。	1. 歯周病の基礎知識を説明できる。 2. 歯周病リスクファクターを説明できる。 3. コア歯学で修得必要な項目を説明できる。 [E-3-2)-(③)、E-3-2)-(④)、E-3-3)-(3)-(①②③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第1,2章 2-58p、臨床歯周病学3版第2-62pを読んでま とめておく。
12月11日 (金) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の診査・診断 歯周病の診査・診断 を理解できる。	1. 歯周病の診査・診断を説明できる。 2. 歯周病診査に必要な器具を列挙できる。 3. 歯周病の診断の臨床的意義を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第4章84- 104p、臨床歯周病学3版63-85, 96-123pを読 んでまとめておく。
12月11日 (金) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周基本治療 (概要・咬合) 診査・診断、治療計 画、歯周基本治療、 咬合の基本を理解 できる。	1. 歯周疾患の診査・診断、治療方針および治療 計画の流れを説明できる。 2. 説明と同意の重要性を説明できる。 3. 治療計画立案の必要項目を列挙できる。 4. 咬合の基本事項について説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章106- 110p,115-131p、臨床歯周病学3版78-85, 124- 148pを読んでまとめておく。
12月11日 (金) 4限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周基本治療(咬合 調整・暫間固定他) 外傷性咬合と咬合 調整・暫間固定を理 解できる。	1. 外傷性咬合と咬合性外傷を説明できる。 2. 咬合性外傷の症状を説明できる。 3. ブラキシズムを説明できる。 4. 咬合調整を説明できる。 5. 暫間固定を説明できる。 [E-3-2)-(③)、E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章132- 135p、臨床歯周病学3版78-85, 165-180pを読 んでまとめておく。
12月14日 (月) 1限	石河太知助教 (分子微生物学)	歯周病の細菌学 歯周疾患と細菌(感 染と免疫)について 理解できる。	1. 口腔細菌、歯垢および歯石を説明できる。 2. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分子生物学的レ ベルで説明できる。 3. 歯周病における感染と免疫を説明できる。 [E-3-2)-(④)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第1章15- 25p、臨床歯周病学3版32-49pを読んでま とめておく。
12月14日 (月) 2限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 応急処置、モチベー ション、プラークコ ントロール他につ いて理解できる。	1. 歯周疾患の急性症状の診断・応急処置につい て説明できる。 2. 歯周治療に必要なモチベーションについて説 明できる。 3. 歯周治療に必要なブラッシング法の種類と特 徴を列挙して説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章111- 123p、臨床歯周病学3版127-164pを読んでま とめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月14日 (月) 3限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 SRP、スケーラーおよび PMTC を理解できる。	1. 歯周治療に必要な SRP を説明できる。 2. 治療に用いるスケーラーを説明できる。 3. PMTC を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章124-131p、臨床歯周病学3版149-164pを読んで到達目標についてまとめておく。
12月14日 (月) 4限	村井 治助教 (歯周療法学)	診査と説明・指導 診査結果と病状説明、口腔清掃指導を理解できる。	1. 診査結果を説明できる。 2. 病状説明のポイントを説明できる。 3. プラークコントロール方法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習: 歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー3版第5章113-123p、臨床歯周病学3版96-115, 138-148pを読んでまとめておく。
12月15日 (火) 1限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	根分岐部病変と歯内-歯周病変 根分岐部病変と歯内-歯周病変を理解できる。	1. 根分岐部病変の分類 (Glickman・Lindhe) を説明できる。 2. 歯根の保存・除去療法について説明できる。 3. 歯内-歯周疾患の成因と治療方法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③④)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章136-138p、183-187p 臨床歯周病学3版245-256, 328-335pを読んでまとめておく。
12月15日 (火) 2限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応 高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応を理解できる。	1. 高齢者の歯周病を説明できる。 2. 歯周病の予防管理を説明できる。 3. 突発病変への対応を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(①②③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3, 5, 6, 8章の該当箇所、臨床歯周病学3版356-364, 309-317pを読んでまとめておく。
12月15日 (火) 3限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周病の疫学 歯周病の疫学について理解できる。	1. 歯周病の疫学について説明できる。 2. 歯周病に影響する要因を説明できる。 3. 歯周疾患の分類について説明できる。 4. SRP のポイントについて説明できる。 [E-3-2)-(③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第7章の244-250p、臨床歯周病学3版86-95, 149-164pを読んで到達目標についてまとめておく。
12月15日 (火) 4限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	ペリオドンタルメディシン ペリオドンタルメディシンおよび高齢者(有病者)の歯周病・注意点を理解できる。	1. ペリオドンタルメディシン、歯周病と関係する疾患(糖尿病および循環器疾患等)との関連性を説明できる。 2. 高齢者(有病者)の歯周病の特徴と治療時の注意点を説明できる。 3. 全身疾患を有する者の歯周病治療について(症例で)説明できる。 [E-3-3)-(3)-(①②③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3章の60-82p、臨床歯周病学3版50-62, 356-364pを読んで到達目標についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月16日 (水) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周組織の診査・歯周疾患の説明 診査・歯周疾患の説明について理解できる。	1. 検査結果を用いて歯周病患者に対する歯周病の病状を適切に説明できる。 2. ブラッシング法の種類と特徴を列挙し説明できる。 3. 歯周組織の診査項目および必要な診査器具を列挙し、説明できる。 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 [F-2-2)-④、F-3-2)-③、F-3-3)-④]
12月16日 (水) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	SRP と PMTC(模型実習) SRP と PMTC を適切に実施できる。	1. SRP に用いる器具を選択できる。 2. SRP(ポジショニング含む)ができる。 3. 安全・感染予防の配慮ができる。 4. スケーラーのシャープニングができる。 5. PMTC を模型で実施できる。 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 [F-1-2)-①②、F-3-3)-⑤]
12月17日 (木) 1限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科 1 (基本) 歯周外科の基本を理解できる。	1. 各歯周外科の適応(特に骨縁下ポケット症例)、歯周外科の基本、歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 2. フラップ手術の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周外科用器具と材料を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習:ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。
12月17日 (木) 2限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科 2 (再生療法他) 歯周組織再生療法を理解できる。	1. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 3. 歯周組織再生療法に用いる材料を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習:ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版207-244pを読んでまとめておく。
12月17日 (木) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科 3 (基本) 歯周ポケット搔爬術、新付着術、歯肉切除術を理解できる。	1. 骨縁上ポケットに適応する歯周外科手術を説明できる。 2. フラップ手術との違いを説明できる。 3. 組織付着療法、切除療法について説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習:ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。
12月17日 (木) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科 4 (歯周形成外科他) 歯周形成外科手術を理解できる。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習:ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版257-266pを読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月18日 (金) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技 実習① (切開、縫合、模型 使用) 歯周外科の基本作 業を実習できる。	1. 歯周外科の基本作業(各種切開方法他)を模型 実習できる。 2. 縫合の種類を列挙し模型で縫合できる。 3. 模型で歯肉弁を作成しメス、持針器を扱うこと ができる。 [F-1-2)-①②、E-3-3)-(3)-③④] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とデ ィスカッションする。
12月18日 (金) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技 実習② (ヘミセクション) 歯周外科の基本術 式を実習できる。	1. 歯根分割抜去術をマネキンに装着した模型上 で実践できる。 2. 歯周外科基本作業(各種切開、縫合他)を模型 上で実践できる。 3. 歯根分割抜去術を説明できる。 [F-1-2)-①②、E-3-3)-(3)-③④] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とデ ィスカッションする。
12月21日 (月) 1限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科の要点お よび全身疾患を有 する患者の治療(症 例報告) 歯周外科の要点・歯 周病治療症例を理 解する。	1. 歯周外科の要点を説明できる。 2. 糖尿病等の全身疾患を有する患者に歯周治療 を実施することにより実際に病状が改善する ことを症例から理解できる。 [E-3-3)-(3)-①④] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3章60- 82p, 第5章145-182p、臨床歯周病学3版181- 266, 345-364pを読んで到達目標についてまとめ ておく。
12月21日 (月) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学) 佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	口腔機能回復治療 (歯周・矯正他) 口腔機能回復治療 を理解できる。	1. 口腔機能回復治療について説明できる。 2. 歯周-矯正治療について説明できる。 3. 歯周疾患患者の歯周補綴(永久固定)・インプ ラント治療について説明できる。 [E-3-3)-(3)-②③] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章188- 199p、臨床歯周病学3版267-308pを読んでまと めておく。
12月21日 (月) 3限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	抜歯の基準、再評 価、メンテナンス、SPT 抜歯の基準、再評 価、メンテナンス、SPTを理解する。	1. 抜歯の基準を説明できる。 2. 再評価の意義を説明できる。 3. 定期管理(メンテナンスとSPT)を説明できる。 [E-3-3)-(3)-②] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章139- 140p, 200-204p、臨床歯周病学3版96-115, 309- 317pを読んでまとめておく。
12月21日 (月) 4限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	特殊な歯周病と薬 物療法、レーザー治 療 特殊な歯周病と薬 物療法、レーザー治 療を理解する。	1. 特殊な歯周病(壊死性潰瘍性歯肉炎、薬物性歯 肉増殖症、歯肉線維腫症、Down症候群、 Papi II on-Lefevre症候群等)を説明できる。 2. 歯周領域の薬物療法(局所薬物配送システム 他)を説明できる。 3. 歯周領域のレーザー治療を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版205-212p, 第9章262-280p、臨床歯周病学3版318-327, 336-344p, 365-376pを読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月22日 (火) 1、2、3、4 限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科の実際 (歯周外科実習：豚顎使用) (実習) 豚顎を使用して歯周外科治療の基本を実習できる。	1. 各種切開法を豚顎で実践できる。 2. 歯肉の全層弁での剥離・翻転を豚顎で実践できる。 3. 各種縫合法を豚顎で実践できる。 4. 歯根明示下でのSRPを豚顎で実践できる。 5. フラップ手術を豚顎で実践できる。 6. 歯周組織の生物学的幅径を説明できる。 7. SRPを豚顎で実践できる。 8. 各種歯周組織検査(ウォーキングプローブ、ポーンサウンディング)を豚顎で実践できる。 [F-1-2)-①②、E-3-3)-(3)-③④] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
1月4日 (月) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周講義まとめ 歯周講義内容の要点を理解する。	1. 歯周病学の要点を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んで到達目標についてまとめておく。
1月4日 (月) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習 歯周領域の重要事項をDESSで演習する。	1. (過去の歯周国試必修・一般問題で問われている)歯周領域重要事項を演習解答できる。 [E-3-3)-(3)-①～⑤、E-3-2)-③④] インターネットに接続可能なPC、タブレット等を持参すること。 事前学習：DESS お試し演習を設定しておくので事前に学習しておくこと。
1月4日 (月) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習解説 歯周演習の要点を理解する	1. 歯周領域の重要事項を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①～⑤、E-3-2)-③④] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んでまとめておく。
1月5日 (火) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	筆記試験(中間試験)	1. これまでに学んだ要点を規定時間内に記述できる。
1月5日 (火) 3限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周実習まとめ 歯周実習内容の要点を理解する。	1. 歯周領域の重要事項を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①～⑤、E-3-2)-③④] 事前学習：基礎実習に関連するザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んでまとめておく。
1月5日 (火) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	中間試験の解説講義 中間試験内容について理解できる。	1. これまでに学んだ要点を規定時間内に説明できる。
1月6日 (水) 1限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周病患者のエックス線読影 (実習) 歯周病患者のエックス線像を読影できる。	1. 歯周病患者のエックス線像の特徴・解決を要する問題点等を列挙して読影できる。 2. 咬合性外傷と根分岐部病変のエックス線像について説明できる。 3. 歯周病による骨吸収ラインを示して説明できる。 [E-3-3)-(3)-②③] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月6日 (水) 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	咬合調整 (実習) 模型で咬合調整が できる。	1. 咬合を診査して咬合干渉部、早期接触部を特定 できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 適切な削合により咬合調整できる。 [E-3-3)-(3)-②③] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とデ ィスカッションする。
1月6日 (水) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	咬合調整、暫間固定 (実習) 暫間固定ができる。	1. 適切な削合により咬合調整できる。 2. A-splint ができる。 3. ダイレクトボンディング固定できる。 [E-3-3)-(3)-②③⑥] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とデ ィスカッションする。
1月7日 (木) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	実習試験(病状説明)	1. 歯周病の病状の説明を適切にできる。 2. ブラッシング方法の説明を適切にできる。 [F-2-2)-④、F-3-2)-③、F-3-3)-④]
1月7日 (木) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	実習試験(SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニングに用いる器 具を選択できる。 2. スケーリング・ルートプレーニングを適切に実 施できる(適切なポジショニングを含む)。 3. 医療安全・感染予防に配慮したSRPが実施できる。 [F-1-2)-①②、F-3-3)-⑤]
1月8日(金) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験 —口腔外科の医療 面接と診察法— 解剖・生理学的知識 を再確認すること で、口腔外科領域の 医療面接・診察法の 意義を理解する。	1. 医療面接で収集すべき情報を説明できる。 2. 医療面接で留意すべきことを説明できる。 3. 診察法の種類を説明できる。 4. 視診・触診の項目を説明できる。 [E-1-1)-①~④、F-2-2)-①~③] 事前学習：咀嚼筋の種類や診察法について解剖学 の教科書を復習しておく。
1月8日(金) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験解説 一般歯科診療にお ける口腔外科領域 の医療面接・診察法 を理解することで、 適切な頭頸部診察 技能を習得する。	1. 医療面接の重要性について説明できる。 2. 医療面接法について説明できる。 3. 医療面接でのコミュニケーションの重要性を 説明できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。 [E-1-1)-①~④、F-2-2)-①~③] 事前学習：医療面接について、疑問点、理解しにく い点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月8日(金) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	医療面接と口腔・頭頸部の診察 (実習) 口腔外科における医療面接と口腔・顔面・頸部の診察に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 診察の環境を整えることができる。 2. 適切なコミュニケーションをとりながら診察することができる。 3. 患者に配慮した診察を実施できる。 4. 頭頸部の診察の手順を説明できる。 5. 口腔の診察を実施できる。 6. 頭頸部の診察を実施できる。 7. 診察結果をカルテに記載できる。 8. 診察結果を患者に説明できる。 [E-1-1)-①～④、F-2-2)-①～③]
1月12日 (火) 1限	山谷元気助教 (口腔外科学)	無菌処置 消毒法と無菌処置、術後の創処置について理解することで、清潔・不潔に配慮した診療を実践する知識と態度を習得する。	1. 手指の消毒法を説明できる。 2. 手術野の消毒法を説明できる。 3. 創の処置法（創の洗浄、消毒）を説明できる。 4. 手術後感染について説明できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-⑥～⑧] 事前学習：消毒、滅菌、手指消毒法について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。
1月12日 (火) 2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	普通抜歯 1 抜歯を実施するために必要な知識を習得することで、適切で安全な治療法を理解する。	1. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤] 事前学習：抜歯に用いる器具について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。
1月12日 (火) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	手洗い 普通抜歯 1(実習) 外科手術における手指の消毒に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 手術前の手洗いが適切に実施できる。 2. 普通抜歯に必要な器具を準備できる。 3. 普通抜歯に使用する器具の使い方を説明できる。 4. 抜歯鉗子の種類を区別できる。 5. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤]
1月13日 (水) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	普通抜歯 2 切開、縫合、止血 切開、縫合、止血に用いる器具と方法について理解することで、適切で安全な治療技能を習得する。	1. メスの種類と特徴を説明できる。 2. 切開方法の指標について説明できる。 3. 縫合法を列挙し説明できる。 4. 縫合に必要な器材を説明できる。 5. 止血法を列挙し説明できる。 6. 止血に用いる器材を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤] 事前学習：止血、縫合法について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月13日 (水) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	抜歯の禁忌症 抜歯と全身疾患 抜歯と全身疾患とのかかわりを理解することで、安全に治療が行える知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯を行う際に注意を要する全身疾患を説明できる。 事前学習：抜歯の禁忌症について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩]
1月13日 (水) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	普通抜歯2 縫合・抜糸(実習) 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 縫合、抜糸に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 抜歯操作を行う環境を整えることができる。 2. 抜歯操作が適切にできる。 3. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備できる。 4. 手指縫合が実施できる。 5. 抜糸が適切にできる。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩]
1月14日 (木) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	抜歯窩の治癒 抜歯後の治癒過程を理解することで、適切な抜歯後の対応、対処ができる。	1. 抜歯の正常治癒経過を説明できる。 2. 抜歯の異常治癒過程とその対処法を説明できる。 3. 創傷治癒について説明できる 4. 抗菌薬の使用法について説明できる 5. 鎮痛剤の使用法について説明できる [E-1-5)-①～⑤⑨⑩] 事前学習：抜歯の治癒異常について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。
1月14日 (木) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	抜歯の偶発症 抜歯の偶発症を解剖学的知識と合わせて理解することで、偶発症や合併症に適切な対応ができる。	1. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩] 事前学習：抜歯の偶発症5種類（気腫、脱臼、上顎洞瘻孔、神経損傷、誤飲・誤嚥）について疑問点、理解しにくい点を5つ程度箇条書きの形式でまとめておく。
1月18日 (月) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	筆記試験（中間試験）	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤、⑨⑩、F-2-2)-①～③]
1月18日 (月) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	中間試験の解説講義	1. 中間試験内容について理解できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月18日 (月) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	実習試験 (医療面接・診察・ 手洗い・抜歯・縫合)	1. 頭頸部の診査、手洗い、器械の準備、抜歯、縫合を適切に実施できる。 [C-4-1)-③④、E-1-5)-①～⑤⑨⑩、 F-2-2)-①～③]
1月19日 (火) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復領域(コア歯学 関連) 修復領域コア歯学 関連項目について 理解する。	1. 修復領域のコア歯学重要項目について説明できる。 事前学習：修復の内容について教科書、ノート、資料、DESSで復習して臨むこと。
1月19日 (火) 3、4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内領域(コア歯学 関連) 歯内領域コア歯学 関連項目について 理解する。	1. 歯内領域のコア歯学重要項目について説明できる。 事前学習：歯内の内容について教科書、ノート、資料、DESSで復習して臨むこと。
1月21日 (木) 1、2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域(コア歯学 関連) 歯周領域コア歯学 関連項目について 理解する。	1. 歯周領域の(過去の歯周国試必修・一般問題・臨床実地問題で問われている)コア歯学重要項目について説明できる。 2. 歯周領域の重要事項をDESS演習で再確認する。 [E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③] インターネットに接続可能なPC、タブレット等を持参すること。 事前学習：DESS お試し演習を設定しておくので事前に学習しておくこと。
1月21日 (木) 3、4限*	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科領域の演 習・解説 口腔外科領域コア 歯学関連項目の演 習・解説で理解する ことで、次年度の学 習に備える。 *	1. 口腔外科領域のコア歯学重要項目を演習によって理解できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤、⑨⑩、 F-2-2)-①～③] インターネットに接続可能なPC、タブレット等を持参すること。 事前学習：DESS お試し演習を設定しておくので事前に学習しておくこと。
1月22日 (金) 1、2、3、4 限	予 備		

(* : コースアンケート実施)

コース最終試験

月 日	担当者		
1月25日 (月) 2、3限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (筆記：修復、歯内)	
1月26日 (火) 2、3限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (筆記：歯周、 口腔外科)	
1月27日 (水) 1、2、3、4限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (口頭試問)	試験会場：矢巾キャンパス東研究1階 SGL 教室 3～8

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 5版	阿南壽ほか編	永末書店	2017年
教	保存修復学 7版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2019年
教	保存修復クリニカルガイド 2版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009年
参	接着性コンポジットレジン修復の基礎と臨床 (「日本歯科評論」特別号)	山田敏元ほか編	ヒョーロン・パブリッシャーズ	2007年
教	歯内治療学 5版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2018年
推	歯内療法失敗回避のためのポイント 47：なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか	高橋慶壮 著	クインテッセンス出版	2008年
教	臨床歯周病学 3版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020年
教	ザ・ペリオドントロジー 3版	沼部幸博ほか編	永末書店	2019年
参	歯周病学用語集 3版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019年
推	失敗しない歯周外科：キュレタージから再生療法まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著第3版	E.S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009年
教	口腔外科学 4版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2020年
参	カラーアトラス サクシント口腔外科学 4版	内山健志ほか編	学建書院	2019年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1-4巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
推	口腔外科学 5版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016年
推	標準口腔外科学 4版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2015年
推	最新口腔外科学 第5版	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	2017年
推	口腔内科学 第1版	山根源之ほか編	永末書店	2016年

成績評価方法

講義（65点以上で合格）：中間筆記試験、コース最終筆記試験、口頭試問の総合評価。DESS 演習結果は講義成績に含む。

実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、中間実習試験、コース最終実習試験の総合評価
講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。

備考

本コースの実習：すべての実習に態度良好で出席し、すべての提出物を提出し、検印を受けることを必須とし、それを守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価対象とする。

講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試は原則として各領域 65 点以上を合格とする。

特記事項・その他

アクティブ・ラーニングを実施するために、TxAD の各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に扱う各内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して逐次確認する。講義資料は必要に応じて WebClass にアップロードする。

学生参加型講義を実施するために、各担当者は過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESS お試し演習）として演習前日までに設定する。各学生は事前学習教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに必ず接続できるよう予め接続可能な PC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、事前学習済み教材を活用し事後学習を必ず行なうこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
外科録画システム・オペ録	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
液晶プロジェクター	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ポット型テーブル	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生指導及びケースプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
拡大鏡・マイクロアジャスタブルTTLルーペⅡ 2.5倍	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ロクラクⅡ Limitedスーパー・シルバー	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
双眼ルーペ・フリップアップタイプ		1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
カラープリンター	LP-S7100R	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	LL-LED	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	UMXL	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ノートパソコン	UX31FRY356	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン	LB-X210S	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	Optiplex9010 ウルトラ	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
口腔内撮影用カメラ一式	EOS/X5他	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ミニコピー	DPC995	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ノートパソコン	FMVS76D	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
ノートパソコン・VAIO一式	VPCEH29FJ/W	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
デスクトップパソコン	I-Mac	1	基礎実習用機器	講義資料・スライドの作成
一眼レフデジタルカメラ	D3100	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影
ビデオカメラ一式	GZ-E265	1	視聴覚用機器	講義・実習のための映像撮影
デジタルカメラ	EOS M	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影用
レーザープリンター	LP-S7100	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
ノートパソコン	PV83228HNMS	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
キャビトンセレクト SPS	667-127	6	基礎実習専用機器	基礎実習におけるデモとして使用
ノートパソコン・dynabook	T75/RG PT75RGPHHA	1	視聴覚用機器	講義および症例プレゼンテーションに使用
ノートパソコン・MacBookPro	MGXA2JA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
デスクトップパソコン・iMac27 一式	Retina5K Z0QX Academic	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
ノートパソコン・dynabook 一式	PR73PBP-SHA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
27型液晶モニター	LCDRDT271XBP	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成・提示用
ノートパソコンMacBook Air	MJVE2JA	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成・提示用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料保存
プレゼンテーションマウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ 一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
Macmini Corei5	MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン MacBook Pro一式	Z0T5	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成、研究データ管理、プレゼンテーション資料作成、画像処理
ノートパソコン MacBook一式	1.3GHz	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用機器	講義・実習配布資料作成、研究データ管理、プレゼンテーション資料作成、画像処理
デスクトップパソコン ProDesk400一式	G4 SF/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成
ルートZX mini	201070390 RCM-7	5	基礎実習・研究用機器	根管長測定実習
アイスペシヤル デジタル 口腔撮影装置	C-3	2	視聴覚用機器	講義資料用症例記録
レーザープリンター	LBP651C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成